

カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) 一般講演会

素粒子から宇宙へ

ヒッグス粒子と私たちの生活

2013年10月8日、ヒッグス粒子の存在を提唱したピーター・ヒッグス博士とフランソワ・アンブレール博士のノーベル物理学賞受賞が発表されました。この受賞に大きな貢献をしたのが欧州原子核研究機構 (CERN) のATLAS、CMSの両実験グループです。2012年7月4日、CERNの記者会見でATLAS実験グループを代表してヒッグス粒子発見の発表を行ったのがファビオラ・ジャンノッティ博士でした。今回の講演会ではジャンノッティ博士がノーベル賞につながったヒッグス粒子発見への道のり、またヒッグス粒子が私たちの暮らす宇宙の成り立ちに果たしてきた役割など最先端の素粒子物理学の魅力をお話します。

2013年 **11月20日** 水

18:30~20:30 (18:00 開場)

会場

浜離宮朝日ホール 小ホール
東京都中央区築地 5-3-2

定員

390名
インターネット応募フォームによる事前申込・抽選制

参加費

無料

対象

中学生以上

講演

ヒッグス粒子と私たちの生活
(原題: The Higgs boson and our life)

応募方法

カブリ IPMU 公式ホームページの
インターネット応募フォームからお申込みください

講演会ホームページ

<http://www.ipmu.jp/ja/node/1709>

応募締め切り

11月1日(金) 17時

決定通知

抽選の結果は詳細と共に11月8日(金)までに
応募フォームに登録したEメールアドレス宛に
通知します

主催

東京大学国際高等研究所
カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)

共催

朝日新聞社



講師
**ファビオラ
ジャンノッティ**
欧州原子核研究機構 (CERN)
英国 エジンバラ大学名誉教授
CERN ATLAS 実験グループ 前代表

通訳と解説 **村山 斉**
東京大学国際高等研究所
カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)
機構長

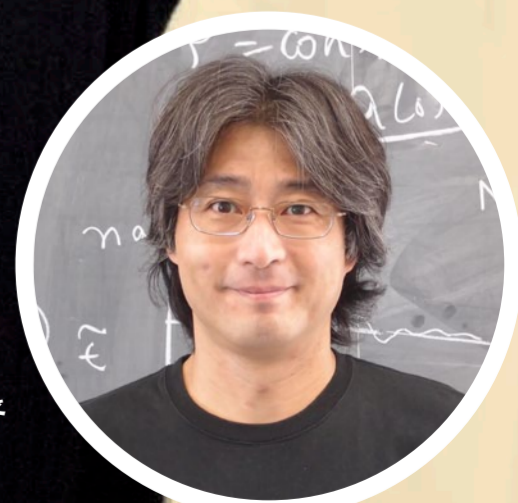


Photo: Claudia Marcelloni

問い合わせ先 東京大学国際高等研究所
カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) 広報担当
Email: koukai-kouza@ipmu.jp / TEL: 04-7136-5977

